

# 指導班だより



今回は、9月26日（木）に訪問した白石市立小原小学校5学年国語の授業を紹介いたします。「学ぶ意欲をもち続け、確かな学力を身に付ける児童・生徒の育成」の研究主題で研究を進めています。本時は、『注文の多い料理店』の「注文の言葉」について、二人の紳士の言動や考えと山猫のねらいを対比させながら、その物語のおもしろさについて自分なりに考えを持ち、表現することができることを目指した実践です。

## 白石市立小原小学校 5年 国語 物語の良さを解説しよう「注文の多い料理店」

### 事例のポイント

- ①「育成したい資質・能力」「目指す児童の姿」の明確化
- ②物語の「おすすめポイント」を「リーフレット」で紹介
- ③中心発問に対する自分の考えをノートに書き発表する
- ④学習計画表と学びを実感できる「学習感想」の発表

### 授業を支えるもの

- 5つの提言の自校化と徹底
- 学習規範・態度の育成
- 日常的な音読・読書の指導
- 授業と連動させた家庭学習

### <本時の指導案概要>

<目標>戸に書かれている注文について、二人の紳士の言動と隠された山猫のねらいを対比させながら登場人物の心情を読み取り、場面の展開のおもしろさを読み取ることができる。

#### 指導過程（本時7/12時）

段階	学習活動	○教師の支援・働きかけ ・予想される児童の反応	評価規準 研究の視点 5つの提言
導入 5分	1 単元を通じた課題と今までの学習内容を振り返る。	○紳士たちの考えと戸の注文に隠された山猫のねらいに食い違いがあることを押さえる。 【1枚目表から2枚目裏の注文】 (紳士の考え) (山猫のねらい) ・歓迎されている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">店に入れる。</span> ・流行っている店だ。 【3枚目表から4枚目裏の注文】 (紳士の考え) (山猫のねらい) ・マナーに厳しい。 ・自分や偉い人にとっ て危険な物を取ろう。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">じゃまな物を取りのぞく。</span>	
	2 本時の学習課題を確認する。	○5枚目表から6枚目裏の注文を確認する。 ○学習計画表で学習内容を確認する。 ○本時の学習課題を書き、全員で音読して確認する。(個人→全員)	視点2-① 提言3
	戸の注文について、紳士たちの考えと山猫のねらいをくらべて読み、場面のおもしろさを見付けよう。		
展開 35分	3 本時の学習場面を読む。(指名読み) ・A児 P120L13～P123L2 ・B児 P123L3～P124L6 (黙読) ・線を引きながら読む。	○指名読みをすることで、本時の学習場面を確認する。その後の黙読では、紳士たちの考えが読み取れるような叙述に線を引きながら読むようにする。	
	4 線を引いた叙述から、注文を読んだ紳士たちがどう考えたのかを考える。 (1) 叙述を根拠にノートに書く。 (2) 考えとなった叙述とノートに書いた考えを発表する。	○根拠を明らかにして、紳士たちの考えを読み取る。  ○読み取ったことを発表しましょう。 【5枚目表】・叙述→児童の考え ・ひびが切れるから、その予防なんだ。 →親切な店だ。 ・貴族と近づきになれるかも →偉い人と親しくなれるかもしれない。 【5枚目裏】 ・実に用意周到だね ・細かいところまでよく気がつくよ →気が利く店の主人だ。細やかな気配りだ。さすがだな。 【6枚目表】 ・すくさい ・どうしたのだろう。 ・まちがえて入れたんだ	視点2-② 提言4  ○紳士たちの考えや気持ちについて、本文の叙述を基に考えながら読むことができたか。【読むこと】(ノート・発言)  提言4

### <授業の実際・児童の様子>

<導入>本時の学習課題を確認する。  
\* 本時の目標が児童にしっかりと意識された。

\* 単元を通じた課題と本時の学習後に振り返る観点を明確に示し、前時までの振り返りを焦点化して短時間で行い、中心となる課題に向かわせることに成功していた。ノートも音読もテンポよく進められ、指導が確立していた。



<展開1>注文を読んだ紳士たちがどう考えたかを考える。

\* 「紳士はこう考えた」という個々の考えの根拠とした叙述をもとに、互いの考えを交流した。  
\* 取り上げた叙述が同じでも感じ方や考え方が異なることを確認しながら、想像を深めさせていた。  
\* 児童それぞれの思いを生かした音読も効果的だった。

	<p>→なんだか酢の匂いがする。酢の匂いの香水なんて変だな。大丈夫。間違えたのだ。  <b>【6枚目裏】</b>          ・ぎよつとして ・おかしいぜ〜ぼくも          →何だか変だ。びっくり。驚いた。怖い。          ・たくさんの注文というのは ・だからさ          →注文されているのはこっちだ。          ○教科書のコピーを活用し、根拠となる叙述に色分けしながら線を引かせる。          ・A児→赤線 ・B児→青線          ○線を引いた叙述が同じでも感じ方や考え方が異なることを確認し、読み深めるため一助とする。</p>	
<p>(3) 紳士たちの気持ちを想像する。</p> <p>5 戸の注文に隠された山猫のねらいを考える。          (1) 山猫のねらいをおさえ、ノートにまとめる。</p>	<p>○会話文の中の…を補う言葉を考えて、音読させることで紳士たちの気持ちを想像させる。          ・「ぼ、ぼ、ぼくらが…」 ・「…うわあ。」          ・「にげ…」 →食べられる！逃げろ！</p> <p>○注文の言葉を確認する。          ○山猫は、紳士たちをどうしようと考えていたのでしょうか。          ・クリームや酢、塩で味付けをしている。          ・美味しくしようとしている。</p>	<p>視点2-② 提言4</p>
<p>(2) 戸の6枚目裏の注文の山猫の本当のねらいを考える。</p>	<p>○なぜ、山猫はこの注文だけ大きな字で書いたのだろうか。</p> <p>→最後の注文という意味だ。          →早く食べたい。食べてやるぞ。          →おいしくなってくれよ。          →気付けさせようとしていた？</p>	
<p>6 物語をおもしろくしている表現の工夫や仕掛けを見つけ、発表する。</p>	<p>○おもしろさの観点を再度確認する。          ○本時の学習での『おすすめポイント』をノートに書きましよう。          ・最後の注文だけ大きな字でかいてある。          ・山猫の注文に少しずつ気付いていく様子          ・「すぐ食べられます」の二つの意味があること。          ・香水が酢のにおいだったこと。          ・「金」(高級感)や「青」(恐怖感)など色を使った表現が使われていること。          ・顔や手足から体中へと味付けされたこと。</p>	
<p>7 本時の学習を振り返り、次時への意欲を高める。</p>	<p>○振り返りの視点を基に、学習感想を書かせさらに次の戸についても確かめようとする意欲を持たせる。</p>	<p>視点2-③ 提言3</p>

<展開2>戸の注文に隠された山猫のねらいを考える。  
 \* 物語のおもしろさを理解した上で、理解した内容を自分の言葉で表現したり、書き加えたりしながら自分の考えを深めていた。  
 \* 第二次の学習の積み重ねで、児童は自分の力で学び進められるようになっていた。これは単元構想の確かさに支えられているものであり、児童には力がついているということである。

<展開3>物語をおもしろくしている表現の工夫や仕掛けを見つけ発表する。  
 \* 既習の「紳士の人物像」もしっかりと踏まえ、前時までの学び(注文に対する紳士の考えと山猫のねらいのずれ)に加え、「今日のおすすめポイント」をまとめるという学習が積み重ねられ、表現の工夫や物語の仕掛けについてのそれぞれの考えの深まりが見られた。  
 \* 「注文の文字色の変化や色彩を使った表現」「擬音語」なども含めた物語のおもしろさや作者の工夫についての思いや考えを自信を持って交流していた。

**板書計画**

九月二十六日  
 注文の多い料理店 宮沢賢治

○戸の注文について、紳士たちの考えと山猫のねらいをくらべて読み、場面のおもしろさを見付けよう。

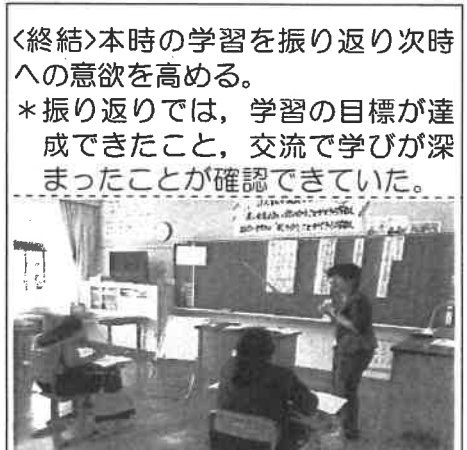
△紳士たちの考え▽  
 「この料理はおいしいから、早く食べてやるぞ。」  
 ・ 食欲と知り合いになれるかもしれない。  
 「クリームをよくゆりまじらしたか、本当によくゆりまじらしたか。」  
 ・ 味が香く店の主人だ。  
 ・ 香やかな気配りができる。さすがだ。  
 「料理はもうすぐできそうです。十五分とお待ちせはいたしません。すぐ食べられます。早くあなをの腹にびんの中のこう水をささぐりかけてください。」  
 ・ 間違えたのだ。大丈夫。  
 ・ 早くおい、さだぞ。どうしたんだ？

△山猫のねらい▽  
 「いろいろ注文が多くてうらまかったでしょう。お金の毒でした。もうこれだけです。どうか、体中に、つゆの中の塩をたくさんよくみこんだください。」  
 ・ びっくりした。おかしい。何だか変だぞ。  
 ・ 注文されているのはこっちだ。  
 ・ 早く食べてやるぞ。  
 ・ 早く食べてやるぞ。

なぜ、山猫はこの注文だけ大きな字で書いたのだろうか。

料理の準備  
味付け  
ねらい

振り返り  
 紳士たちの考えを聞き取ることができたか。  
 山猫のねらいを聞き取ることができたか。  
 おすすめポイントを見付けることができたか。



**【国語科】の指導のポイント**

※教科書の「手引き」を活用し、単元を通して何を学習するのか、どんな力を身につけていくのかという学習のめあて(ゴール)を児童にしっかりと把握させています。既習事項を活用した教師のサンプル作成が、児童の目的意識をより明確にすることに役立っています。

※小学1年生から中学3年生までの文学的文章単元の目標及び重点指導事項の系統を確認し、育成したい力の具体を単元の指導計画にしっかりと位置付けています。

※目標も評価も3点セットで対応させ、指導事項の系統性を踏まえた実態に基づき、単元終了時の目指す児童像を明確にしています。